

『各学年の主な感想』（笹間第一小学校）

【1年】

- ぴあのといっしょにおはなしをよんでいて、すごいとおもいました。（石ヶ森 薫子）
- うたがとてもきれいでした。（高橋 樹）
- うたもぴあのもとてもじょうずでした。（高橋 里佳）

【2年】

- 自分より人のことを思っているところがかんどうした。はじめてピアノとお話がいっしょになっているのをきいたけど、とてもすごかった。（小原 亜似）
- 一人げきのようにやっていたすごかった。ブドリが自分をぎせいにしたところがかんどうした。（高橋 萌菜）
- はく力があってびっくりした。自分の命をかけてみんなを助けたところがかんどうした。ピアノが合っていてとてもよかった。（平賀 永清）
- ブドリの気持ちにあった音楽で、ブドリの気持ちがよく伝わってきてかんどうしました。（大道 輝）

【3年】

- わたしが一番すごいなと思ったところは、ピアノで「かなしい」、「こわい」を表していたことでわかりやすくなっていることです。とてもすごいなと思いました。お話を読むとき、ゆっくりとはきはきして、わたしもぜひまねしたいなと思いました。（伊藤 美空）
- グスコブドリの伝記のお話を聞いて、みさきさんがピアノや歌がうまくてびっくりしました。読み方が、そのセリフの人になりきっていてすごかったです。（大和 柚妃）
- 一人で何役もこなすなんてすごいと思いました。ピアノをひきながら歌もうたえるなんてすごいです。私は宮沢賢治の作品にきょうみがあったので、これをきかいにいろいろ読んだり調べてみたいと思います。（伊藤 愛梨）
- グスコブドリでは、こわい音、おもしろい音、などいろいろな音があっておもしろかったです。最後にうたってくれた「ビリーブ」は、とてもかんどうしました。（伊藤 奏太）

【4年】

- 私は、「グスコブドリの伝記」を題は知っていたけれど、内容は知りませんでした。聞いてみて、とても悲しいお話でした。みさきじゅんこさんのピアノのすごさがよく伝わってきて感動しました。家にグスコブドリの本があるので、この機会に読んでみます。また、一人で楽器を使って、お話も伝えることは難しいことで、私にはできそうにありません。すごいなあとと思いました。（小原 愛央）

○今年の賢治セミナーは「グスコブドリの伝記」でした。一人でお話と演奏をいっしょにするということがすごかったです。みさきじゅんこさんの歌や一人語りのうまさにびっくりしました。グスコブドリのお話は少し悲しいお話ですが、感動しました。機会があれば別の賢治作品も聞いてみたいです。  
(根子 雄成)

○私は、「グスコブドリの伝記」の話の内容をよく知りませんでした。けれども、みさきさんが一人語りをしてくれてよく分かりました。悲しいお話でした。ピアノをひいたり、歌を歌ったりしてくれた中で、「星めぐりの歌」がとても心に残っています。最後に歌ってくれた「ピリープ」もとてもきれいでした。すてきな演奏でした。

(大和 愛実)

### 【5年】

○迫力のあるピアノの音で、たくさんの声がそれに合わせて出ていたので、すごかったです。グスコブドリの伝記は、詳しいところまでは知らなかったのですが、今回賢治セミナーで詳しく知ることができてよかったです。今は、当時のような冷害はほとんどなくなり、食料に困ることなどまずありませんが、昔の人たちの苦しみを知り、当時の人々は大変だったんだなあと思いました。同時に当時の人たちの強さも感じました。

(高橋 円迦)

○一人でかなりの役の数を演じていたのがすごいと思いました。火山の爆発、妹がつかされたところなどでは、大きな音で体全体を動かして役にすっかりなりきっていてすごかったです。最後に歌った歌「ピリープ」はいつもぼくたちが歌っているものとはちがう感じでしたが、それが美しいと思いました。

(佐々木 琉汰)

○みさきじゅんこさんのろう読は、一人でたくさんの役を演じていてすごかったです。まるでムービーを見ている感覚でした。ろう読の中でピアノをひいたりするなど、全部が暗記できているんだと分かりました。話に合ったピアノはとてもきれいでした。

(佐藤 真希)

### 【6年】

○三咲さんは、ブドリやネリ、クーボー博士、赤ひげの男など、一人で多くの役をやるだけでなく、それぞれ声を変えたり、途中ピアノをひいたり、声の大きさや速さなどを考えて変化をつけ、「音読」ではなく「朗読」という表現で、本当にすごいと思いました。ピアノは悲しい時は暗くゆっくりと、楽しいときは、明るくテンポ良く、爆発などのときは、大きな音など、色々考えていておもしろかったです。

(高橋 朝飛)

○三咲さんは「グスコブドリの伝記」を語りながら、ピアノもひいていてとてもかっこよかったです。語りがうまく、お母さんがお父さんを探しに行くときのブドリたちと言う言葉がとても心に残りました。最後の「ピリープ」では、ピアノと歌がとても響いてきれいでした。

(平藤 楠菜)

○三咲さんの演奏を聞いて、ぼくは朗読で声の大きさを変えながら言ったり、速さを変えながら言ったりすることで、迫力がまし、感情がこめられるんだなあと思いました。また音楽で「ピアノと歌」「ピアノと言葉」をうまく重ねて伝える力がすごいと思いました。こういう演奏で、「グスコープドリの伝記」を書いた賢治さんが伝えたかったこと、考えて欲しかったことなどが伝わってきて、一層賢治さんのことが知ることができてよかったです。 (照井 正樹)

○三咲さんが、音楽を入れながら朗読をして、ネリが連れ去られるときに、ブドリがなく場面では、本当に泣きさげんでいたの、びっくりしたし、朗読ってすごいなあと思いました。朗読のことをもっと詳しく知りたくなりました。 (高橋 来未)

○グスコープドリの世界がピアノと歌で美しくえがかれていた。そして、とても迫力のある演奏でした。次々の、その風景などが思い浮かび、悲しみやうれしさ、そして飢餓の恐ろしさとブドリの強さを感じられました。私もグスコープドリを演じたことがありますが、三咲さんの「グスコープドリの伝記」は、また違う表現の仕方、とても感動しました。 (高橋 萌)

